

国営かんがい排水事業

とかちがわ さがん

十勝川左岸二期地区

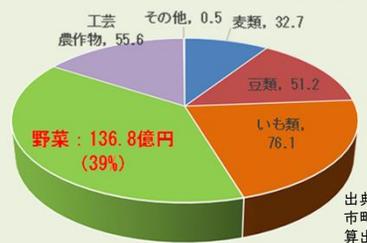


地域の概況

本地域は、十勝管内の音更町、清水町及び芽室町に位置し、一級河川十勝川沿いに拓けた、大規模経営を展開する日本を代表する畑作地帯です。

近年は野菜類の導入も進んでおり、ばれいしょ、スイートコーンで道内シェアの1割以上を、えだまめでは、道内シェアの3割を占め、道内でも有数の野菜産地としての地位を築き上げています。

地域（3町計）の農業産出額（耕種） 単位：億円



出典：平成30年市町村農業算出額（推計）

地域野菜の道内に占める割合(H30) 単位：t

	ばれいしょ		スイートコーン		えだまめ	
	収穫量	割合	収穫量	割合	収穫量	割合
北海道	1,742,000		83,600		6,020	
地域計	204,700	12%	8,807	11%	1,800	30%

資料：北海道農林水産統計年報、スイートコーンは十勝総合振興局、えだまめはJAめむろ調べ



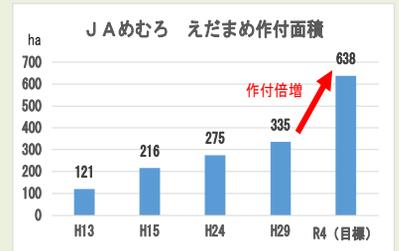
<スイートコーン収穫状況>

<えだまめ収穫状況>

えだまめについては、かんがい用水の導入以降、加工施設（ISO22000認証工場）の増設、大型ハーベスターの導入等、品質を保つ取組により、作付の拡大を進めています。



大型ハーベスターを導入し、効率的な適期収穫が可能に。



資料：JAめむろ 第5～8次農業振興5か年計画

地区の現状と課題

本地区の農業用施設は、造成後20年以上が経過し、ダムの電気設備等の老朽化の進行や管路の破損事故が生じています。

また、地区内の排水路の一部において降雨形態の変化による流出量の増加に起因した湛水被害が発生しており、施設の維持管理に苦慮しております。

一方、本地区においては、畑地かんがいの普及とともに、野菜類が増加してきており、地域の営農の変化に即した用水計画の見直しが必要な状況です。

管路の破損事故による農地被害



農地湛水状況



農地陥没状況



湛水被害の影響によってしおれたてんさい (平成28年8月)

野菜類へのかん水



このようなことから、本地区が抱えている課題の解消や、老朽化が進行している農業用排水施設の計画的な更新整備が求められております。

事業の目的

水需要の変化に対応した用水再編により、新たな畑地かんがいの用水手当を行うとともに、排水能力の確保に向けた排水路を整備を実施します。

本事業により、農業用水の安定供給、農地の湛水被害の解消及び施設の維持管理の軽減を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定化を図ります。

事業計画概要

■用水施設

農業用水の安定供給を図るため、用水施設の改修を行います。

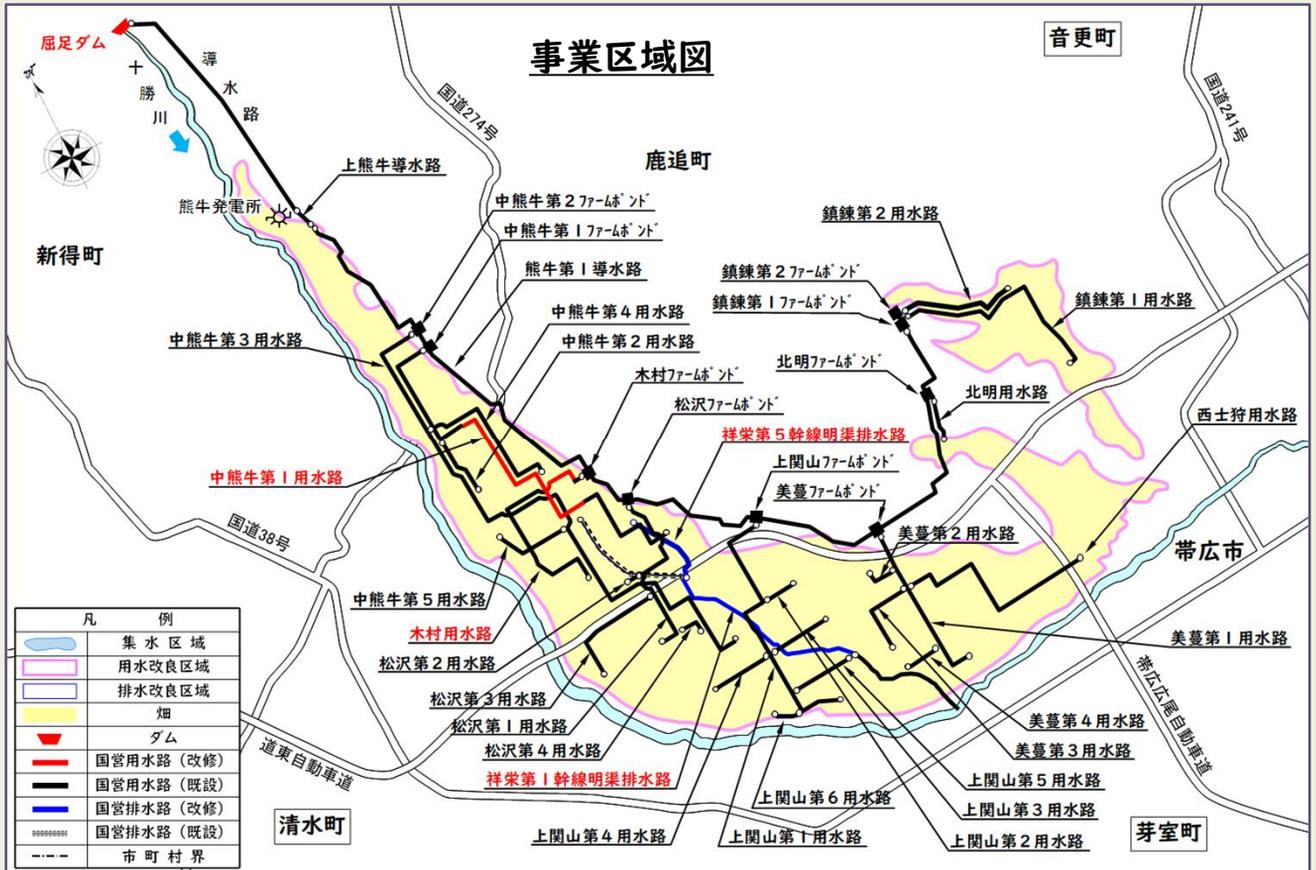


■排水施設

農地への湛水被害解消を図るため、排水路を改修を行います。



事業区域図



■事業計画概要

関係市町：上川郡清水町、河西郡芽室町、河東郡音更町

受益面積：6,560ha（用排水改良）

主要工事：ダム（改修）1箇所、

用水路（改修）2条L=5.7km、排水路（改修）2条L=7.2km